

2022年3月期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

2022年3月期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険持株会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせします。

記

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	5,828,058	5,953,649
資本金等	955,539	1,129,262
価格変動準備金	128,006	138,331
危険準備金	59,927	61,869
異常危険準備金	1,041,989	1,145,489
一般貸倒引当金	2,964	3,411
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,447,869	2,313,740
土地の含み損益	263,397	273,658
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△ 19,187	△ 20,759
保険料積立金等余剰部分	302,741	294,676
負債性資本調達手段等	300,000	300,000
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	406	628
控除項目	145,434	159,990
その他	489,837	473,330
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,300,045	1,439,272
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	374,354	411,122
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	31,951	34,923
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	44,779	51,776
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	10	10
予定利率リスク(R ₅)	23,209	21,431
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	2,206	2,235
資産運用リスク(R ₇)	880,380	959,700
経営管理リスク(R ₈)	32,515	35,940
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	268,884	315,825
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	896.5%	827.3%

（注）「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第210条の11の3および第210条の11の4ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

以上